

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第百卅一號 明治卅五年九月三十日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第百四十一號

農道發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年九月二十七日

一那賀郡王子村大字西ノ芝

東 溆阿津三宅地ニ沿フ里道限リ

西 中島梅治宅地ニ沿フ里道限リ

南 出峰次郎宅地ニ沿フ里道限リ

北 谷口清三郎宅地ニ沿フ里道限リ

和歌山縣知事 植基一郎

和歌山縣訓令甲第六十二號

監獄署
禁除ノ

中一役所
警察署
分署
市役所

明治三十四年二月訓令甲第十一號内務省所管物品取扱細則第二條へ左ノ但書ヲ加フ

但必要ノ場合ニヘシ警察署へ物品取扱主任ヲ置クコトアルヘン

明治三十五年九月二十六日

和歌山縣知事
椿 勇 一

○和歌山縣訓令甲第六十三號

關 郡 警 全 縣 水 地 方 產 立 分 痘 試 驗 場 痘 一 中 戰 緝 察 學 所 喬 署 署 校 院 所

和歌山縣旅費規則左ノ通定ム

但明治三十一年九月訓令第二百九十六號及訓令第二百九十七號同三十二年七月訓令第五號同三十三年四月訓令第八號同年六月訓令甲第七十三號同三十四年三月訓令甲第二十四號及訓丙第九號同年五月訓丙第二十四號同三十五年三月訓丙第六號ハ本則施行ノ日ヲ以テ廢止ス
明治三十五年九月廿七日

和歌山縣知事
椿
嘉一郎

縣職第百三十一號

明治三十五年九月三十日

第三種駕使物認可

三

和歌山縣旅費規則

第一條 縣費支拂ニ係ル官吏有給吏員公務ニ依リ旅行スルトキハ本則ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條 普通旅費ハ分ナ四等トシ別表甲號ニ依リ之ヲ支給ス

第三條 檢疫委員長檢疫委員事務所長又ハ檢疫委員ニシテ本官アルモノハ明治三十三年勅令第三百三十三號内國旅費規則別表旅費額ニ依リ本官相當ノ旅費額ヲ醫師薬剤師等ニシテ檢疫委員タルモノハ判任官相當ノ旅費額ヲ給シ巡查ニシテ檢疫委員タルモノハ明治三十年内務省令第二十七號甲號表ノ旅費額ヲ支給ス

第四條 郡書記那観學及雇員ニシテ其ノ郡内ノ出張巡回ニ限リ車馬賃日當宿泊料ハ左ノ金額ヲ支給スルモノトス

一車馬賃一里ニ付 判任官 金拾貳錢
一日當 一日ニ付 判任官 金八 銀

雇 金八 銀
金四拾錢

一宿泊料一夜ニ付 判任官 金七拾錢

第五條 巡查ニシテ管内出張ニ限リ日當宿泊料ハ左ノ金額ヲ支給スルモノトス
一日當 金貳拾五錢
一宿泊料 金四拾錢

巡查ニシテ特區内ヲ巡回スルトキハ普通旅費ヲ給セス宿泊シタルトキニ限リ夜間ニ應シ

宿泊料ヲ巡査部長ハ四拾五錢其ノ他ノ巡査ハ前項ノ額ヲ支給ス但シ特別申務ノ爲メ臨時
出張スル場合ハ此ノ限ニアラス

巡査持區内ニシテ地勢上渡航ニアラサレハ至リ難き場所ヘ巡回スルトキハ渡航費ノ實費
ヲ支給スルコトヲ得

第六條 有給縣吏員及體系教師ニシテ平常旅行ヲ要スルモノニハ別表乙號ノ定ムル所ニ依
リ月額旅費ヲ支給ス

第七條 月額旅費ヲ給フリモノ出張巡回ノ日數一ヶ月ニ充タサルトキハ其ノ端口數ハ月額
三十分ノ一ヲ以テ一日トシ日割ヲ以テ支給ス

第八條 月額旅費ヲ受クヘキモノ縣廳ヨリ出張地ニ通勤スル場合ハ月額旅費六十分ノ一ヲ
一日分トシテ其ノ日數ニ應シ之ヲ支給ス但シ公務ノ都合ニ依リ宿泊シタルトキハ其ノ日
ニ限リ月額三十分ノ一ヲ給ス

第九條 月額旅費ヲ受クヘキモノ左ノ場合ニアリテハ月額旅費ノ外車馬賃船賃貿易賃ヲ支
給ス

一土木有給縣吏員ニシテ二工區以上ヲ受持ツ場合各工區間ナ往復スルトキ及體系教師ノ者
工區ニ兼務スルトキ亦全シ

二縣稅檢査吏員糞棄死聞ニシテ縣廳ヨリ出張地ニ往復及體廳ノトキ又ハ體系教師ニシテ
甲講習所ヨリ乙講習所ニ往復スルトキ

三上官ニ隨行ノトキ又ハ特別ノ用務ニ依リ出張ヲ命シタルトキ

縣報第百三十一號

明治三十五年九月三十日

第三種體積物認可

四

第十條 月額旅費ヲ受クルモノ左ノ場合ニアリテハ普通旅費ヲ支給ス但シ此ノ場合ニハ月
額旅費ヘ日割ヲ以テ控除ス

一土木有給縣吏員ニシテ工區詰ノ者其ノ工區内ニ出張スル者ヲ除キ其ノ他工事ノ施行監
督及測量設計等ノ爲メ工區工場又ハ測量地ニ往復スルトキ但シ工區工場又ハ測量地ニ
滯在一週間以上ニ涉ルトキハ車馬賃船賃汽車賃ノ外日當宿泊料ヲ給セス滞在日數ニ應
リ月額旅費日割ヲ以テ支給ス

一縣廳ヨリ土木工事ノ検査又ハ調査ヲ爲メ出張ヲ命シタルトキ
一八務ノ爲メ管外ニ旅行スルトキ

一勤務地若ヘ詰所ノ轉勤ヲ命シタルトキ

第十一條 土木有給縣吏員ニシテ道路小破修繕工事ノ監督ニ專シ從事スル者ハ月額旅費ノ
二割ヲ増給ス

第十二條 土木有給縣吏員第一工區詰ノ者ニシテ内勤ノ者ニハ旅費ヲ支給セス其ノ他ノ工
區詰ニシテ内勤ノ者ヘ月額旅費ノ三分一ヲ減給ス

第十三條 旅行ハ海路若ヘ汽車ノ便アルモノハ海路若ヘ汽車ノ便ニ依ルヘシ但シ海路又ハ
汽車便アルモノ之レニ係リ難キ事由アラヘ其ノ旨チ開申スヘシ

第十四條 旅費支給方法ハ本則ニ定ムルモノ、外ヘ總テ明治三十年勅令第三百三十三號内
國旅費規則ノ規定ヲ適用ス

旅費ノ請求及精算手續ハ國庫支辨ニ係ル内閣旅費ノ請求及精算手續ニ依ル

附則

第十五條 本則ハ明治三十五年十月一日ヨリ施行ス

第十六條 本則施行前ヨリ出張巡回ヲ爲ス者ニシテ旅費支給ノ額異ナルモノハ本行規則ノ日ナ以テ分界トシ旅費ヲ計算スヘレ

別表

甲號表

等級	汽車貨一哩	船貨一海里	車馬貨一里	宿泊料一付	日當一付
一等 委任官同待遇者、病院長同副院長	金五錢	金五錢	金二十錢	金一圓三十錢	金八十錢
二等 土木工師 判任官同待遇者、通譯、病院事務長、同醫費、藥劑費、事務員	金四錢	金四錢	金十五銖	金八十錢	金四十銖
二等 、警察技手、職業教師、土木技					
三等 巡查、土木工手、雇員 、同書記	金三錢	金三錢	金九錢	金六十五錢	金三十錢
四等 給仕、小使	金二錢	金二錢	金九錢	金六十錢	金三十錢

縣報第百三十一號

明治三十五年九月三十日

第三種免便物認可

五

乙號表

月額	土木工師	土木工手	土木工手	土木工手
金四十五圓	縣稅檢查員			
金二十七圓	土木技手			
金二十一圓	土木技手			
金十五圓	職業教師			

○和歌山縣告示第二百九十七號

大分縣ニ於テ牛疫發生ニ付左ノ通牒令發布ノ旨通知アリタリ

明治二十五年九月二十六日

和歌山縣知事 櫻 基一郎

大分縣令第六十二號

本縣南海部郡西上浦村ニ於テ牛疫發生蔓延ノ兆アルニ付明治二十九年法律第六十號獸疫
豫防法第十二條ニ依リ該村内ニ於テ牛羊山羊ノ出入往來並ニ同地域内ニ牛毛牛皮牛骨
敷藁糞尿其ノ他病毒傳播ノ疑アル物品ヲ搬出スルコトヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年九月十六日

大分縣知事 大久保利武

○和歌山縣告示第二百九十八號

大分縣北海部郡津組村大字千怒ニ於テ本月十四日牝牛二頭牛疫ニ罹リ即日撲殺ノ旨通知ア
リタリ

明治三十五年九月二十六日

和歌山縣知事 櫻 基一郎

○和歌山縣告示第二百九十九號

近來本邦商業團體及個人等ヨリ在外帝國領事館ニ向テ直接諸般ノ事項調査方依頼スル者續
々アル趣ノ處官廳以外ノ者ト在外公館トノ通信ニ關シテハ是以テ何等ノ規定ナキモ其ノ調
査出願ノ事項中往々外務省ニ於テ既ニ調査済ノモノアリ又ハ同一事項ニ關シ各所ヨリ同様
ノ調査ヲ依頼スル等ノ結果ヲ生シ無益ニ在外公館ノ煩累ヲ重ヌル旨ヲ以テ今般其ノ筋ヨリ

縣印第二百三十一號

明治三十五年九月三十日

第三種郵便物認可

六

和歌山縣知事 櫻 基一郎

通牒ノ次第アルニ依リ今後前記ノ如キ調査ヲ要スル場合ニハ其ノ旨外務省ニ出願スヘシ
追テ當業者ニシテ常ニ外務省發刊通商彙纂ニ注意セヘ別ニ調査ヲ要セヌシテ明瞭スル事
項アルヘシ

明治三十五年九月廿七日

和歌山縣知事 櫻 基一郎

○和歌山縣告示第三百號

一縣下那賀郡王子村大字西ノ芝石井字之松飼牝牛一頭本月二十一日炭疽ニ罹リ斃死セリ

明治三十五年九月廿七日

和歌山縣知事 櫻 基一郎

○和歌山縣告示第三百一號

虎列拉病豫防ノ爲メ本年月本縣告示第二百六十五號中三重縣下ノ次ニ愛知縣下ヲ追加シ已設

檢疫所ニ於テ本月二十八日ヨリ船舶ノ檢疫ヲ施行ス

明治三十五年九月廿七日

和歌山縣知事 櫻 基一郎

○和歌山縣告示第三百二號

本月二十九日ヨリ伊都郡橋本町ニ開會スヘキ獻業講習會ハ取消ス

明治三十五年九月二十七日

和歌山縣知事 櫻 基一郎

○觀測

明治三十五年九月廿五日ヨリ三日間當地氣象概況

九月廿五日 九月廿六日 九月廿七日

前年一本年 前年一本年 前年一本年

